

## 小学生とのタウンミーティング（要約（ようやく））

テーマ：未来の松山のこと、私の住む地区のこと

令和6年10月26日（土曜日）

【市長】 皆さんあらためまして、こんにちは。今日は土曜日の午後に集まっていたきまして、まことにありがとうございます。また子どもたちを引率（いんそつ）していただいた各小学校の先生方本当にお世話になります。ありがとうございます。さて今日始めますタウンミーティングですが、いただいたご意見を、松山市のまちづくりに生かしています。私が市長になってからずっと続けていまして、今日でちょうど140回目ということになります。いつものタウンミーティングなんです、市内は41地区に分かれます。旧松山市、旧北条市、旧中島町合わせて41地区に分かれるんですが、その41地区を回って、地域の皆さんとお話をしたり、また、中学生、高校生、子育て中のお父さんやお母さん、またおじいちゃんやおばあちゃんの他、農業をしている方であったり、例えばご商売をされている皆さんであったりとか、銀行におつとめの皆さんですとか、いろいろな年齢の方、いろいろなお仕事の方からご意見をお聞きしています。これまで大人の方と一緒に小学生も参加してくれていたんですが、小学生だけで開催するというのは今回が初めてになります。ですから、私達大人もちょっとドキドキしています。また参加した皆さんから市の取り組みがよく分かって勉強になったとの声が多くありましたので、現地現場で働く市の職員が、皆さんの生活に役立つお話をする広報タイムを意見交換の途中（とちゅう）でもうけています。今日もあちらに書いていますね。「食品ロスを減らしましょう」と書いています。今松山市では、子どもの皆さんをこれからもしっかりと支えていくためにどんなことをしていくか決める「こども計画」をたくさんの方のご意見を聞いて作っています。今日のタウンミーティングでも、松山市を良くする意見やアイデアをどんどん発言していただけたらと思います。皆さんからのご意見に対してはできるだけこの場でお答えをします。でも中にはいろいろな人と相談をしなければいけない案件や、また実現するにはお金がたくさん必要な場合もあります。いいかげんな返事はできませんので、しっかりと考えた答えを1カ月後、必ず皆さんにお返事をします。聞きっぱなしにしない、やりっ放しにしないというのが松山市のタウンミーティングの特徴（とくちょう）です。今日は小学生の皆さんが普段（ふだん）どんなことを考えているのか知ることができるので、とても楽しみにしています。あまり緊張（きんちょう）しないで元気よく意見交換できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【番町小】 僕たちの住む松山には、何となくだけど、テーマパークというか、そういう娯楽施設的なものがちょっと少ないように感じて、ぜひともそのようなテーマパークや、有名人などが来られる、東京ドームとかよりもでかいライブ会場を作ってほしいっ

ていうのがあって、ぜひともそういう場所に、多分今計画中にはあると思うんですが、みんなで運動ができる施設を作って、そこでみんなが運動に親しみながら、集うことができるとうれしいです。ぜひとも、そういうところにスタジアムとかを作ってくれたら、何かそこで平和宣言とかもできたら、すごいうれしいです。ぜひともたくさんのね、有名人を呼んで、もう10万人規模（きぼ）のライブとかもしてみたいです。そして、テーマパークでは香川県のレオマワールドや大阪府のUSJよりも大きい日本最大級の遊園地を作って、アトラクションでは、これもまた日本最大級のジェットコースターや松山のマスコットキャラクターの意見を生かしたVRアトラクションを作ってほしいです。また3Dのお化け屋敷を置いたりするなど、現代の最新技術をフル活用した楽しいテーマパークを作ってほしいです。若い人たちが松山に定住したり、また県外の人や海外の人が松山に住みたいと思えるようなまちにしたいです。その結果、経済的にも発展すると考えます。

【市長】 まずどのことから言ってあげようかな、と考えているんですが。まずこのことから言おうか。先月ですねJR松山駅の駅舎が新しくなりました。飲食やお土産のお店もオープンをしました。松山市ではこの工事に合わせて、何年も前からですね、駅の周りの土地をどのように使っていくのかを考えてきました。そこで、JR松山駅の南のエリアに、プロスポーツの試合やライブなどを楽しめる5000席規模のアリーナと、そして希望がありました文化活動で使える100席規模のホールが一緒になった施設の整備を計画することにしました。その近くには、子どもが楽しめるアミューズメント施設や飲食、商業施設ホテルなどを民間企業に作ってもらうように話を進めていきたいというふうに考えています。これによってJR松山駅の周辺全体をですね、全国からのお客様をおむかえして、エンターテインメントとスポーツが楽しめる場所にしていきたいと考えています。これからも市民の皆さんの声をお聞きしながら、地域の魅力（みりよく）を高めていくようにがんばっていききたいと思います。これがシンプルな答えなんやけど、もうちょっと小学校6年生やけん、ちょっと難しいことも考えられると思うんでちょっと言うておきましょう。例えば10万人規模が入れるスタジアムを作ろうと思ったら、どれぐらいのお金が要と思う。具体的な数字はちょっとわからないんだけど、そのお金は誰が出すのかっていう話になるんですよ。それはみんなのお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんが働いてくれて、税金を納めてくれてるんだけど、そのお金で作るの。それを50年使っていこうと思ったら、50年の管理費（かんりひ）がいるの。これ作るお金と維持（いじ）するお金。今、例えば50年使うんだったら、君たちが50年お金を払い続けないといけないの。今12歳だよ。62歳まで50年使うとしたら、ずっと使わなくちゃいけないってこと。だから、都市に合ったものを作るっていうことがすごく大事。ちょっと難しい話をしたけれども、ちょっと一つだけ、あんまり長くなると18校いけなくなるんで。北海道の札幌（さっぽろ）ドームのお話をするのと、札幌ドームには日本ハムファイターズっていう野球チームね、新庄監督（しんじょ

うかんとか)のところが使ってたんだけど、今、北広島市(きたひろしまし)っていうところに球場がうつっちゃって、札幌ドームは1年間に今4億円の赤字が出ているの。それは誰が負担するかって言ったら、市民の人が負担するっていう、やっぱそういうことも考えながら、物は作っていかなくちゃいけないので、そういうところがちょっと難しいところです。ちょっと難しい話をしましたけども、そういう答えになります。

**【素鷺小】** 僕は野良猫をなくすための体制についてお聞きします。素鷺小学校の通学路には、猫にエサやり禁止とはり紙がされている家があります。学校周辺、運動場などでフンをするなど、衛生的にも良くない状況です。猫を増やさないためや殺処分(さつしょぶん)される猫を少しでも減らすために、学校と地域が協力できる体制を作りたいと考えています。野良猫の情報を子どもから学校へ共有したら保護がしやすくなり、野良猫を増やさないための手術が行えると思います。そうすれば地域でかわいがる地域猫として生活でき、殺処分されることも少なくなると思います。このことから、野良猫をなくすための体制について教えていただきたいです。

**【市長】** お答えします。それでは皆さん地域猫活動ってご存知でしょうか。地域の皆さんが、飼い主のいない猫へのエサやりやトイレ、子猫が増えない手術などのルールを決めて、人間と猫と一緒に生活していきましようという活動をするを、地域猫活動といいます。松山市では、この活動をする地域の皆さんを応援して、ルール作りのお手伝いや手術代の一部をお渡しするなどしています。地域猫活動や動物愛護に関心があったら担当の職員さんが学校に行って、皆さんにお話することができます。そこで、学校と地域で何か協力できることがないかとか、考えていったらと思います。また松山市には、今年の3月に総合公園に動物愛護センター「はびまるの丘」っていうのを作りました。犬や猫の新しい飼い主を見つけたり、さっき言った地域猫活動を紹介するパネルを置いたりしていますので、ぜひとも足を運んでいただいたらと思います。皆さんにお願いなんですけど、ペットを飼うっていうことは、命、わんちゃん猫ちゃんたちの命をあずかるということになります。ペットの寿命(じゅみょう)が来るまで愛情を持って世話していただいたらと思います。どうぞよろしくお願いします。

**【椿小】** 私達、椿小学校では、南海トラフ巨大地震への対策について質問したいと思っています。近頃、南海トラフ巨大地震が起きると言われていて、松山市でもいろいろな対策を考えていると思います。他の県では津波避難タワーや防災公園などができています。椿小学校校区は、地震はもちろん、河川(かせん)で氾濫(はんらん)が心配されています。地震や津波、川の氾濫などの対策や被害のないまちにするための対策を教えてください。僕たち椿小学校はこのように考えていますが、松山市ではどのようなことを考えているのか具体的に知りたいです。

**【危機管理課長(ききかんりかちょう)】** まず皆さんにお願いしたいことがあります。

自分の家や住んでいる地区が洪水や土砂(どしゃ)、津波などでどのくらいの被害が出るのか。どこに逃げたらいいのかを知っておくことです。少しでも危険を感じたら、早め早めの避難が非常に大切です。松山市では、災害のときに役立つ情報をまとめた「まつやま総合防災(そうごうぼうさい)マップ」を市民の皆さんのおうちにくばっていますので参考にしてください。もしお家にはない場合は市役所や支所でお受け取りいただけます。また、災害時には皆さんに必要な情報をインターネットやテレビ、ラジオなどを使ってお伝えするほか、避難所には食料や飲み物、簡易(かんい)トイレなど備蓄品(びちくひん)をおいています。また、椿小学校に近い重信川では、大雨で水がまちに流れ出さないように、国が堤防(ていぼう)を強くする工事や、川にたまった土で水があふれやすくなっていないかなどを確認しています。これからも、国や県と一緒に様々な対策に取り組んでいきます。

**【市長】** 心配だよね。でもね、大人がちゃんと備(そな)えているからね、みんなも一緒に備えていただいたらと思います。さっき言った防災マップは各ご家庭に配っていますから、家に帰ったら探してみてください。役立つ情報いっぱい入ってます。細かく中心部とか城東エリアとかお城の西のエリアとか、こういう形で7つに分けて、出しています。防災って何かを作るだけではないんですよ。市民の皆さんに意識してもらってというのも防災の一つです。何か災害が起きたときには、私達は一生懸命(いっしょうけんめい)皆さんのところに助けに行きます。消防職員さんが消防署のまわりを重い服を着て走ったりしてるの見たことあるかもしれません。一生懸命備えています。一生懸命訓練しています。でも大きい災害が広いエリアで起こってしまったら、ちょっと時間がどうしてもかかってしまいます。ですから皆さんにちゃんと備えていただくっていうことは、松山の防災を上げることに確実につながっていくんで、皆さんも日頃から備えていただいたらと思います。どうぞよろしくお願いします。

**【正岡小】** 私達に通っている正岡小学校についてお聞きしたいと思います。正岡小学校は今、児童数が減少しています。私が入学した頃は70人だった児童数が、今年度は49人になりました。昨年度から3、4年生が複式学級になったり、低中高学年ごとの合同学習が始まったりと、学習環境も大きく変わってきました。今年度は2・3年生、4・5年生が複式(ふくしき)学級になり、一つの教室で、2学年が学習しています。このまま児童数が減少して、正岡小がなくなるのではないかと心配しています。小規模校(しょうきぼこう)が今後どうなっていくのか教えてください。

**【教育総務課長】** 地元を思っただけの質問ありがとうございます。まずは心配しないしてほしいと思います。正岡小学校をやめる計画は現在のところございません。北条にある立岩小学校は校区の児童が少なくなったけれども、他の校区の児童さんに通ってもらうことで学校を続けている状況です。また松山市内には、いつでも学校を再開することができるよう「休校(きゅうこう)」とって教育活動を休んでいる学校もあります。しか

し、全国的に子どもの数は減っていることは現実でございます。松山市では力を入れていろいろな対策をしていますけれども、将来のことは正確には分からないというのが、今の考え方かなと思います。そのため皆さんにお願いがございます。大きくなってもここに住みたい、住み続けたい人が増えるよう正岡や松山のいいところをみんなに広めていっていただけたらと思います。

【市長】 若いみんなにお願いなんですけど、例えばさっき正岡のお話してくれたよね。正岡の人が正岡のいいところをほめんと、誰がほめてくれますか。他の地域の方は、やっぱり難波の方は難波で、河野の方は河野で、うちは一番、うちの地域はこういうところがええって言うけど、他の地域の方がよその地域をほめてくれるかいうたら、やっぱりその地域に住んでいる人がほめんといかんよね、好きにならないかんよね。同じことで松山に住んでいる人が、松山いいですよ、いいと思ったら、いいですよって発信せんと。伊予市の方がしてくれたりせんよね。東温市の方がしてくれたりせんよね。やっぱり自分のまちを好きになることは大事だと思うんですね。発信していくことも大事だと思います。これ全体的な話ですけど。小学校って大人も運動会やイベントなんかで使うじゃないですか。だから小学校って子どもだけのものではないと私は思ってるんです。この間秋祭りがあって、正岡小学校にだんじりがいっぱい集まっていたと思います。地域コミュニティっていうんだけど、そういう地域のつながりを深める場所としても大切だと思いますんで、できるだけ学校は残していきたいと思っています。

【高浜小】 私達の高浜小学校は梅津寺(ばいしんじ)海岸のすぐそばにあります。梅津寺海岸や梅津寺駅などは映画やドラマの舞台となったこともあり、今でもたくさんの観光客が訪れています。しかしその人たちはただ写真を撮って周辺をぶらぶら歩いて帰っているだけです。また昔梅津寺には梅津寺パークや温泉などがあってたくさんの人でにぎわっていたと聞いています。今、梅津寺パークの跡地(あとち)は、伊予鉄の管理する庭園になっていますがそちらはあまり人が入っていません。僕たちも入ったことすらありません。せっかくの梅津寺海岸がこれでは、とつてももったいない気がします。松山の観光といえば、道後温泉と松山城というイメージがありますが、梅津寺の美しい海岸の風景を壊さないようにしながら、人々が楽しめる施設を作ったり、イベントを企画したりすることで、松山市に住んでいる人、観光に来た人それぞれにとって、今よりもっと魅力のあるまちになるのではないのでしょうか。三津浜地区や興居島、中島などとコラボしたらできることがとても増えそうです。私達の高浜小学校の児童会では梅津寺に小さな水族館があったらいいなと話したりしています。これで高浜小学校の発表終わります。

【企業立地・産業創出課長(きぎょうりっち・さんぎょうそうしゅつかちょう)】 梅津寺海岸はきれいな砂浜で映画やドラマのロケ地になりました。三津浜はレトロな雰囲気(ふんいき)のまち歩きを楽しめ、興居島や中島は海水浴やみかんの収穫体験(しゅ

うかくたいけん) ができるなど、それぞれの魅力があります。松山市では、瀬戸内海全体の魅力を使って、さらに観光客を呼び込もうと、広島自治体や交通旅行会社と一緒にになりまして、全国のいろんなところで松山の紹介をしてきました。そして、修学旅行など、たくさんの方が松山に来てくれるようになりました。また、もっと観光客に来てもらうため、各地区の魅力をふまえ、海や島の楽しみ方、アウトドアの旅などのテーマに分けて、ホームページで紹介しています。なお、水族館につきましては、民間の会社を中心に進めるのがいいと考えていますので、民間からお話があれば、松山市でもできる範囲でサポートしたいと考えています。

【市長】 梅津寺なんですけど、みんなもテレビでコマーシャル見ているかもしれません。「がんばっていきまっしょい」っていうアニメーションが、10月25日だから昨日から全国公開されました。私、ちょっと時間なくて全部は見られてない、予告を見たぐらいなんですけど、梅津寺海岸がいっぱい出てきています。みんなも、これから県外で過ごすことがあるかもしれないんだけど、僕は大学は岡山、同じ瀬戸内に面した岡山県の大学に進んだんですけど、岡山の海岸って岡山市内から車で1時間ぐらい行かないと着かないの。ほんで梅津寺やったら裸足(はだし)で歩いたら気持ち良いような砂浜でしょ。でも同じ瀬戸内やけど、岡山の海岸ってちょっと足に当たったら痛いような小石が多い砂浜なの。なので日頃から僕たちがもう本当15分ぐらいで、市内中心部から行けるような梅津寺とか堀江の海岸も、ものすごく宝物だったりするんですよ。県外に出たらそれを感じる。なので、大事な場所として、これからも守ってくれと、それこそ昨日から全国公開された「がんばっていきまっしょい」の舞台になったりとか、先生方はなつかしい方もいるかな。「東京ラブストーリー」言うてフジテレビで全国放送されたりとか、いろんな形で取り上げられて、人がまた行くっていうようなこともあると思います。大事な場所にゴミがいっぱいあったら、そういうところには人がいかんから、ゴミをひろうとか大事にしてもらったらと思います。よろしくお願いします。

【湯山小】 私達は、湯山小学校がすてきな学校だと分かるような絵を描(か)いたり、壁をぬったりする活動をしたいと考えています。湯山小学校は、地域にとっても大切にされています。地域に大切にされている私達が、がんばっていることを地域の人にも伝えたいと思っています。運営委員会(うんえいいいんかい)であいさつ運動をしていたとき、ふと、壁に目をやると、前に卒業した方たちの絵が描かれていて、私達も卒業記念として、自分たちががんばっていることを伝えられる絵を残したいなと思いました。学校のまわりを明るくすることで、地域の方や通りかかった人に素敵な学校だなと思ってもらいたいです。もし、これが実現すれば、湯山小が地域の中心として、人々をつなぐような場所になってくれると思います。なので、私達は湯山小学校がすてきな学校だとわかるような絵を描いたり、壁をぬったりする活動をしたいです。この夢を実現するためのご協力をよろしくお願いします。

【市長】 湯山小学校さんで、そういうご希望があると聞いていましたので、ちょっと、しっかりと動いてみました。自分たちで、こんなことをしたいっていう意見を持つことは、素晴らしいことだと思います。建物の外の壁（かべ）とか塀（へい）に絵を描くことは、まわりの景色と合っていないといかんよね。えらい奇抜（きばつ）なものができてしまったとか、まわりの自然のバランスとも大事ですよ。場所とか大きさとか内容とか色などを確認しないとイケません。湯山小学校さんに聞いてみたら、道路を思い浮かべてね、道路ぞいの南の倉庫の壁、何となくわかる。道路ぞいの南の倉庫の壁に、絵を描けるスペースがあるっていうことがわかりました。今日のご意見を私どもから学校の方にお伝えをしますので、先生と相談してみてください。皆さんが描いた絵が、湯山小学校のお子さんや地域の方々に見てもらって、元気と笑顔を与えてくれることを期待しています。できるんじゃないかなって思います。

【生石小】 生石小学校です。先ほどの正岡小学校と似（に）たような意見で、松山市の人口減少と少子化についてお聞きします。松山市の人口が50万人を下回ったことをニュース番組や、愛媛県のコマーシャルで知りました。また、僕らが通っている生石小学校は、5年前の児童数は1,000人を超えていましたが、現在の生石小学校の児童数は、800人余りまで減ってしまいました。そこで、人口減少や少子化は、生石地区に限らず、松山市全体の課題だと考えています。そこで質問です。松山市の人口減少を止めるために、市がどのような取り組みをしているのか、また、これから、どのような取り組みをして松山を盛りあげ、少子化に対していくのかを聞きたいです。この課題に対する意見をぜひお願いします。そして、その意見をもとに、これから自分たちにできることについて考えたいです。お願いします。

【市長】 最初に、スタジアムの話で、税金で建てて、管理のお金があるんですよ、みたいなお話しましたが、人口が減ったら、地域で使われるお金、マーケット、市場とかって言うんですけど、人口が減ると、地域で使われるお金が減りますよね。また、市役所に入る税金が少なくなって、生活に必要なサービスや行政サービスを続けるのが難しくなります。松山市では、若い人が松山に住んで、仕事して、結婚して子どもを産んで育てたいと思ってもらえる、いろんな取り組みをしています。ちょっとご紹介（しょうかい）しますが、例えば、市外や県外からもどってこられた人への仕事の紹介、また、結婚を希望する男の人、女の人が出会えるイベントの開催、また、18歳まで病院のお金、病院のお金って言ったら、大きく二つに分かれるんだけど、かぜひいた、お腹痛くなっちゃったっていう通院（つういん）と、長いこと病院にいるっていう入院（にゅういん）、通院も入院も、今、松山市では18歳まで無料にしています。いろんなサポートしてます。人口が減っても社会が回るように、デジタル技術を使って、DX化って言うんだけど、それも進めてます。民間企業さんでもデジタルが進んだらいいので、学習会、相談会を開いたりとか。今、コンビニでいろんな書類が取れたりしますけども、

市役所では窓口に行かないで手続きできる、オンライン申請を進めたりしています。さっきの話と重なるんですけども、やっぱり、松山に住む人が、松山のいいところを知って、「松山いいところですよ」って発信することが大事よね。じゃないと人来てくれないよね。なので、これから、もう僕は57歳ですけど、みんながこれからの松山を作っていくんで、どうぞ松山のことを好きになってください。そして、今日のタウンミーティングで言うたでしょ。例えば、エアコンが教室についたのも、小学生の意見だったって言ったよね。小学生だからできないなんて思っていないので、どうぞこれから自分たちの住む、育っていく松山のことを考えて、こうしたらいいんじゃないかなっていう意見を考えて、言ってください。それが大事なことだと思います。

**【福音小】** 福音小学校です。福音小学校は、地域の避難所に指定されていて、市長さんに相談したいことがあります。まず、体育館が暑いことです。体育館に大型（おおがた）の扇風機（せんぷうき）などがありますが、地域の人が避難したときに、全員がすずしいと感じるような力がないことです。二つ目が、トイレの多くが和式なことです。福音小学校のトイレは、基本的に和式で、多くの人が運動会や音楽会などで来てくださったときに、ご高齢の方や、小さい子どもたちがトイレをしにくいことが多くなっていることです。これらの問題は解決していただけるのでしょうか？

**【教育総務課長】** 新しい設備（せつび）などをつけるときは、数多くある松山市の小学校や中学校を同じようにしていかなければなりません。そのためには、たくさんのお金がかかるので、何をしていくのか、順番を決めて進めていきます。夏の気温が高くなっているので、7年前、平成29年度、30年度に、市内全ての小中学校で、普通教室やよく使われる特別教室にエアコンをつけて、学校で勉強しやすいような環境づくりに取り組んだところです。今は、校舎（こうしゃ）を安全・安心に、また、長く使えるように直したり、LED照明（しょうめい）に変えたりするなど、校舎の古い学校から順番に工事をしています。なお、学校の先生は、皆さんが熱中症（ねっちゅうしょう）にならないように、予防（よぼう）方法や、なったときの対応をたくさん勉強していただいています。エアコンがないところでの活動は、先生の話をよく聞いて、学校生活を過ごしていただいたらと思います。

**【市長】** 私の方から補足（ほそく）して、トイレは、確かにまだ、世の中には和式のトイレが残ってるんで、和式のトイレの使い方も知ってもらわないかんのやけども、みんなが使ってるのは今、洋式のトイレが増えているので、学校では洋式のトイレ化を進めていきます。これからも進めていきます。それと、体育館のエアコンをつけようと思ったら、ある小学校だけ体育館にエアコンがついとして、他の小学校はついてないいうたら、不公平ってなるでしょ。だから、エアコンも小学校中学校で、普通教室、音楽教室とか理科教室に、全校でつけていったように、体育館のエアコンつけていこうと思ったら、小学校、今53校、中学校29校に全部つけないといけません。そのお金を生



むのに、ちょっと苦勞して、全部の小学校と全部の中学校の体育館に、エアコンをつけようと思ったら、150億円います。というのが、まず空調（くうちょう）を設置することに50億円いって、それプラス、エアコンつけただけではあんまりききが良いので、体育館に断熱材（だんねつざい）を入れるとか、ガラスを断熱性の高いものにするとか、そういう工事をしていくと、全部で150億円ぐらいいます。なので、ちょっとこのお金の工面（くめん）に難しいところがある。でも、まったくあきらめていないわけではないので、どういう形で子育てを支援できるか、いろいろと考えています。現状はちょっとこういうところですよというのをご説明させていただきました。

**【湯築小】** 湯築小学校です。僕たちは、学校の設備について聞きたいことがあります。先ほど話された学校もありましたが、足をケガした子どもや先生、保護者が、給食の食缶（しょっかん）や、荷物の移動に使用できるエレベーターを、一部の学校には設置されていると聞いたことがあります。全ての学校に設置してほしいです。また、暑いときの体育館のエアコンで、全ての学校には難しいので、何校かの学校が共有（きょうゆう）できる体育館を作ってみてはどうですか。

**【教育総務課長】** 松山市では、障がい（しょうがい）のある子どもさんが安全安心に学校で勉強できるように、今、全部の小学校へ順番に1基（き）ずつエレベーターをつけている状況（じょうきょう）です。湯築小学校は、これからになるという状況ですので、もうしばらくお待ちいただけたらと思います。もし、階段を上昇することが難しい、しんどいという子どもさんが入学したときには、学校の先生と話をし、階段の横につけた、イスで上がる機械があると思います。階段昇降機（かいだんしょうこうき）って言いますが、それらをつけていますので、安心していただけたらと思います。また、エアコンは、先ほども言いましたが、7年前、市内全ての小中学校の普通教室や特別教室につけて、皆さんの学習の環境を整えているところです。体育館のエアコンも、先ほど市長が申（もう）し上げましたように、たくさんのお金がかかるというところをふまえて、皆さんの税金で、いろいろ考えながらやっていって、今は校舎を安全安心に長く使えるように直したり、エレベーターをつけたりする工事に力を入れているところです。

**【市長】** みんな小学校6年生だったと思います。タブレットが変わります。4年前に、子どもたちが新しい技術（ぎじゅつ）、さっき言ったDXね、新しい技術になれて、それぞれの能力（のうりょく）にあった勉強ができるように、1人1台のタブレットを導入（どうにゅう）したんですが、来年は動きがスムーズで使いやすいタブレットに入れ替えを予定しています。みんな小学校6年生から中学生になるけど、中学生も関係ありますから。タブレットが新しく変わることであります。お知らせします。

広報タイム「食品ロスをへらしましょう」

【伊台小】 私たち伊台小学校は、観光を活性化したいことについてお話します。松山から台湾や韓国には、飛行機の直行便があると聞きました。それを利用して、日本から外国に行ったり、外国から日本に來たりする人が増えるのは、とても良いことだと思います。学校で学んだことを生かして、私たち小学生も、外国の人に松山の見どころをアピールする機会があれば楽しいと思います。また、韓国や台湾の小学生と交流できる機会があればうれしいです。そして、小学生が幅広い文化にふれたり、たくさんの体験をしたりすることで、明るい松山につなげていけると思いました。観光を活性化することを通して、お互いの国を理解し合い、平和な世界を築(きづ)く松山の一步にしたいです。

【企業立地・産業創出課長】 松山市内には、いろいろな国の外国人の方がたくさん住んでいて、交流をするには、まず、皆さんが、相手の国の言葉や文化の違いなどを勉強する必要があります。まつやま国際交流(こくさいこうりゅう)センターでは、皆さんのような小学生も参加できて、日本語の話せる外国の方と一緒に、その国の文化がわかる、ぬり絵や工作などを楽しめるイベントをしていますので、ぜひ参加して、松山の良さを伝えてください。松山国際交流センターのホームページに情報をのせていますので、ぜひ見ていただきたいと思います。また、毎年、友好都市(ゆうこうとし)の韓国・ピョンテク市で開かれる、小学生の美術展に松山市内の小学生から絵を募集(ぼしゅう)して、作品を送っています。その作品は、韓国の小学生が見てくれて、後で作品集も届きます。絵を通した交流ができますので、ぜひ応募(おうぼ)してみてください。

【市長】 今、言われた中に、まつやま国際交流センターっていうのが松山市にあるんですよ。ここは、外国のことを知ろうと思ったら便利なんで、まつやま国際交流センターを活用してください。相談してみてください。うちの息子は今、社会人3年目なんですけど、高校の修学旅行で初めて外国に行きました。台湾に行ったんですけど、県立高校に行って、どこの修学旅行を選びますかっていうんで、「もうどうせやったら海外経験しとったらええわい」言うて、台湾をおすすめして行ったんですけど、すごいなんか、帰ってくると良かったみたいです。外国の人と接(せつ)する機会があれば、どうぞ接してみてください。先生にお話したら、こういう機会あるよって教えてくれるかもしれないので。それと、みんなこれから中学生、高校生になっていくけど、外国語ががんばっててください。例えば、英語。別に、ドイツ語でもフランス語でもええんよ。外国の人と言葉が伝わったら、相当うれしいけん。外国語ががんばって見て。やっぱり、英語が使われてるところが多いので、がんばって話せるようになったら、ものすごい楽しいけん。もうみんなの世代は、外国とのつながりは絶対にこれからも強まると思うんで、外国語ががんばっててください。

【たちばな小】 私達は松山市の魅力について市長に聞きたいと思います。私達が考える松山の自慢(じまん)は二つあります。一つ目は子規記念博物館(しききねんはくぶ

つかん)など、偉人(いじん)について知ることができる施設や松山城など、歴史を学べるところがたくさんあることです。二つ目は松山空港が時間通りに出発する小規模空港(しょうきぼくうこう)で世界第1位に認定(にんてい)されたところです。市長が考える松山の自慢を教えてください。また、魅力あるまちづくりのために取り組まれていることはありますか。

【市長】 私が思う松山の自慢は、道後温泉であったり、松山城であったり、ことば文化だと思います。北海道から沖縄までいろいろ温泉があるんですけど、道後温泉は日本で一番古い温泉って言われています。一番古いんよ。これやっぱ宝ですね。工事してたでしょう。あれはもう100年に1回の大修理なんです。これ、「千(せん)と千尋(ちひろ)の神隠(かみかく)し」の油屋(ゆや)のモデルの一つになったところなんよ、道後温泉は。みんなの世代にちゃんと宝物を引き継ぐために5年半がんばって工事してきました。100年に一度の大修理が終わったんで、もうみんなの世代、みんなの子どもの世代もあんな大修理はしなくてすむと思います。この建物を目当てに市外、県外、国外の人も来てくれる場所です。松山城も江戸時代が終わる、お侍(さむらい)さんの時代よね、お侍さんの時代が終わる、江戸時代までにできた天守(てんしゅ)、全国で12だけ残ってるんだけど、その中の一つである松山城も宝物だと思います。松山では「俳句甲子園(はいくこうしえん)」ってやってるよね。路面電車に何かいい「ことば」書いてたりするよね、「ことば文化」も松山の宝物だと思います。やっぱり、私、まちづくりで「たからみがきのまちづくり」って言ってるんだけど、松山城にしても、道後温泉にしても、ことば文化にしても、松山の宝だと思うんだけど、中には「うちの町にはなんにもないわい」って言う人いるんよ。でもやっぱ大事なものって、心の目で見ることが大事だと思っていて、やっぱりよく考えると、松山城も宝物、道後温泉本館も宝物、ことば文化も宝物だと思います。やっぱり前向きな気持ちでとらえて、発信していくことが大事だと思いますので、これからも「たからみがきのまちづくり」をしていけたらと思います。

【中島小】 私達は中島と松山が橋でつながるといいなと思います。もし、橋がつながると、中島と松山の行き来が楽になり、橋を渡っている間、観光もできて、観光客が増えると思います。そして中島が発展し、人口も増えると思います。そして、工事がしやすくなり、遊具を作ることができて、観光客がたくさん中島に来て、中島にしかない遊具を作ったらいいなと思います。

【市長】 私はですね、小学校でいうと「清水小学校」入学卒業です。実家(じっか)は北条にあります。中島には親戚(しんせき)がいます。あの不思議と松山も北条も中島も全部つながってるんですけども。みんな知らんと思うけど、私の前の仕事は南海放送のアナウンサーを20年していました。知ってる人もいるかな。いろんなどころを取材していて、中島は本当に自然豊かで、もう中島の子は知っとるけど、夜、星きれいよ

ね。中島の宿泊（しゅくはく）施設で「ほしふるテラス姫ヶ浜（ひめがはま）」っていうのがあるんですよ。本当、中島は歴史も文化もあります。本当に好きなのところですよ。トライアスロンが行われたりして、私も10キロ、真夏ですけど、走ったりするんですけど、本当島の人たちが応援してくれて、温かい場所だなと思います。橋の話がありました。今ね、日本で一番長い橋って、「東京湾アクアブリッジ」って言って約4キロです。実は高浜から中島の神浦（こうのうら）までが11キロある。ちょっと、橋はつなぐのは難しいかなっていうところですよ。別の方法で中島をまた元気にしていきたいなと思ってます。さっきの「たからみがき」と共通するんですけど、普通、中島や興居島のことを、「離島（りとう）」、離（はな）れた島って漢字で書くんですけど、今、松山市では、離れた島って言うっちゃうと、マイナス思考（しこう）になってしまうので、「里島（りとう）」。中島の人にとっても故郷（ふるさと）。他の中島以外の人にとっても、ここは故郷みたいな島やなって感じてもらえるような、そんな場所ですよって言うので、「里島」って書いて、「りとう」って読むようにしています。いろんなことをやっていますが、市内の高校や会社に行く人のフェリー代のサポート。島の外の人に中島のおためし移住施設があるんですけど、そこをおすすめするとか、14世帯住むようになりました。あと、さっき言った「ほしふるテラス姫ヶ浜」の建て替えですとか、いろんなことをしています。11月になったら「紅まどんな」という美味しい柑橘（かんきつ）ができますが、それをいっぱい買ってもらえるように、私も東京の大田市場（おおたしじょう）にセールスに行ったりしています。いろんな方向で中島を元気にしていきたいな。中島のこども園が、この間新しくなりました。全面バリアフリーです。全部の部屋にエアコンがあります。また、いろんな方法で中島を元気にしていきたいなと思いますので、また遠慮なく言ってください。

**【清水小】** 福祉体験学習で、視覚障がいのある方のお話を聞きました。目の不自由な方は、信号の音を聞いて止まったり、渡ったりしていることを知りました。しかし、音の鳴る信号機がある場所や、音の鳴る時間が限られているということも知りました。誰もが住みやすい松山市にしていくために、この「小学生とのタウンミーティング」のように野志市長が障がいのある方とお話をされる機会はありますか。また、今後、「音響式信号機（おんきょうしきしんごうき）」を増設（ぞうせつ）したり、鳴る時間を増やしたりする計画はありますか。

**【市長】** 思いやりであったり、優しさであったり、福祉の心を持ってくれてうれしいなと思います。障がいのある方とお話する機会はあります。手話をちょっと勉強していて、ちょっとやりますね。「皆さん、こんにちは、松山市長の野志克仁（のしかつひと）です」ってやります。「皆さん、こんにちは、松山市」（手話）ちょっと待ってね、間違ったらこうやってするの。「松山市長の野志です」（手話）が、手話です。全部に何となく意味合いがあるんですよ。「皆さん、こんにちは」（手話）これね、時計の長い針（は

り)と短い針が上でクロスすると12時ですよ。『こんにちは』(手話)これ、人と人とおじぎしてるのね。『皆さん、こんにちは』(手話)『松』(手話)って何か、松葉みたいな感じがするでしょ。『松山市長の野志です』(手話)手話は、けっこう意味合いがあって、なんか覚えやすいですけど、伝わるものすごくうれしいですよ。ですので、そういう思いやりの心、優しい心、福祉の心を持っていただくのはすごく大事なことだと思います。音響式信号機は、駅や公共施設に迷わず行けるように警察がつけています。わかりやすく言うと、『赤ですよ、止まりましょう』『ここは30キロで走りましょう』『ここは40キロで走りましょう』人を規制(きせい)するものは警察が作っています。何となくわかるでしょ。『赤止まりましょう』『30キロで走りましょう』それは警察さんの担当になります。松山市では63カ所、音響式信号機があります。今日のご意見は、『それは警察の仕事だから』って言って、私達はほっぽり出すんじゃなくて、私達の方から警察に、今日のご意見はお伝えをします。これからも、福祉に関心を持ってもらって、こまっている人に手を差し伸べることができる人になってもらったらと思います。

**【浅海小】** 僕たちは、子どもからお年寄りまで集う、まちづくりについてお話をします。僕たちの住んでいる浅海は、どんどん子どもの数が減り、今、浅海小学校の児童は22人です。また、お年寄りの数が多いです。浅海には、空き家や空き地がたくさんあります。そこで、浅海にある、空き家や空き地を利用して公園やオープンスペースなど、世代問わず、遊んだり集まったりすることができる場を作ってほしいです。そうすると、もっと浅海のまちがにぎわい、住みやすい街になると思います。

**【まちづくり推進課長】** 空き家または空き地、これは個人の持ち物になるために、どう使うかっていうのは、持ち主の方の考え方で決まります。もし、持ち主の方から空き家の管理に困っているなどの相談があれば、公園や人の集まる場所に使えるかどうか、お話を聞いてみたいと思っています。また、浅海地区では、多くの世代の皆さんが集まれる場所づくりをしています。『まちづくり協議会』というのがありまして、月に1回程度、浅海公民館の前で、浅海でとれた柑橘(かんきつ)の販売や、子どもが遊べるコーナーなどを楽しめる『浅海マルシェ』を行っていて、子どもからお年寄りまでたくさん集まって交流を深めています。公民館では、子ども向けの『ピザ焼き体験』や三世代で楽しむ『もちつき大会』など、様々なイベントをしていると思います。松山市では、このまちづくり協議会や公民館の活動をサポートして、地域の皆さんと一緒ににぎわいのあるまちづくりに取り組んでいます。

**【市長】** できたら、そういう浅海でのイベントにどんどん参加してもらったらと思います。前にこんなこと言われたことあるんだけど、『中学生とのタウンミーティング』だったかな。『ちょっと話すのが苦手です。何か話すのが上手になるコツありますか』ってというような、ご意見を持ってる人がいました。で、大人と話してみてください。大人っていろんな経験をしていますから、ちょっと話すの苦手だなと思ったら、大人の人、

上手に配慮（はいりょ）して、うまく引き出してくれたりしますから。ほんなら話すことに自信ができて、他の人とも話すことができるような、そんな例もあります。地域で子どもと大人がつながることも大事。コロナのとき、ある地区では、獅子舞（ししまい）をずっとやっていたんだけど「獅子舞が子どもに教えられなくなって、伝えることが難しくなった市長さんどうしよう」って言われたことがあるんですね。でも、そうやって大人と子どもが話すような機会があると、いろんな伝統も伝えていくことができるので、ちょっと恥ずかしいかもしれないけど、大人と話してみるのも大事なことで、つながってみてください。

**【みどり小】** 坊っちゃん列車について聞きたいと思います。坊っちゃん列車は運転する人員不足や赤字経営（あかじけいえい）が深刻（しんこく）だというニュースを聞きましたが、坊っちゃん列車は松山市民だけではなく、全国の人々に親しまれているため、今後も残した方がいいと思います。坊っちゃん列車はどうなるのか、また、坊っちゃん列車を残すためにどのようなことをしているのか、市長さんに聞いてみたいです。

**【企業立地・産業創出課長】** 坊っちゃん列車は、明治から昭和の中頃まで活躍した、蒸気機関車（じょうききかんしゃ）がモデルで、夏目漱石（なつめそうせき）の小説「坊っちゃん」の登場人物が利用したことから、その名前がつけました。民間会社の伊予鉄道が走らせていますが、運転手の不足や会社経営（かいしゃけいえい）の問題から続けることが難しくなっているため、松山市は伊予鉄道と話し合いをしたほか、市民の皆さんや観光客にアンケートを行いました。今、まとめているアンケート結果をもとに、松山市として、坊っちゃん列車が走り続けるために何ができるのか考えているところです。

**【市長】** 坊っちゃん列車のことですけども、今、ちょうど言ったように、アンケート結果がまとまって出てきました。これを基（もと）に、さあどうするか、走らせますよ。やめますよ。今、言えないんですけど、言えるときになったら、発表させていただきます。今、大人が一生懸命考えているところです。市長の仕事でなやましいのは、例えば今、一番町のところに「国際ホテル」っていうところがあったんだけど、「国際ホテル」も「銀天街」のところも民間の再開発なんですよ。いろいろ動きがあります。松山駅の周辺の再開発も、民間さんといろいろ話をしてるところですけど。本当は、「今ね、実はね、この辺まで来てるんですよ」って言いたいんですけど、言っちゃったら、民間さんとの交渉（こうしょう）をしてるところなんで、「なんで市長言っちゃったんですか」って破談（はだん）になってもいけないので言えないってところがあるんですよ。確実に、交渉して進みます。坊っちゃん列車のことも、ちょっとまだ今は言えないんですけども、大人たちが一生懸命考えているところですので、また言える段階になったら、発表させていただきます。

**【久米小】** 今学んでいることで感動したことについて話します。総合的な学習の時間

に古代の久米について、久米官衙遺跡（くめかんがいせき）・来住廃寺跡（きしはいじあと）を中心に学びを深めています。古代の久米を学ぶほどに久米を誇（ほこ）りに思い、愛する気持ちが高まりました。考古館（こうこかん）の方々に何度もサポートしていただき、久米地区から発掘（はっくつ）された遺物や遺跡からも多くのことを学びました。久米小学校では古代の人々が食していたであろう赤米（あかまい）作りを5年生がしています。6年生は古墳が多く発掘されていることから、ハニワ作りをしています。そのような体験とともに、古代の瓦（かわら）、久米の回廊状遺構（かいろうじょういこう）・正倉院（しょうそういん）・政庁（せいちょう）などについて資料をもとに追求（ついきゅう）し、古代の地図や模型なども作っています。調べていく中で、久米のすばらしさを地域の方々にもっともっと知ってほしいと思うようになりました。考古館の方々が「遺跡や遺物は考古館で大切に保存しているけれど、土地は地域にあります」といった言葉がとても印象に残り、僕たちの宝のまち久米を自分たちで守っていきたくて強く思いました。地域の祭りにも参加して学んだことを発表させていただきました。今後の計画として、自分たちの学びをいろいろな地域の方々にもわかりやすく伝えていきたいと思っています。久米も道後と同じように温泉も豊かです。将来は「歴史と観光のまち久米」として発展してほしいと願っています。そのためのアドバイスがあれば教えていただきたいと思います。

**【企業立地・産業創出課長】** 道後と久米が温泉でつながるプロジェクト、とてもおもしろいと思います。松山市では、道後小学校と湯築小学校の皆さんに、松山観光キッズになってもらい、観光客に道後の良さを案内しています。今後、久米小学校の皆さんと何か一緒にできることはないか。まずは道後に来てもらって、私達職員の案内で温泉や歴史文化を勉強してみませんか。道後の良さを知ることで、久米の良さをさらに理解できると思います。また、オンラインで交流を始めるのもいいと思います。どのようなテーマで、どのような話をしたいのか決めておく必要があるので、皆さんで話し合った後、先生に相談してみましよう。よろしく願いいたします。

**【市長】** 久米ってね、ものすごい歴史の可能性のあるところだと思うんですよ。みんなもちょっと思い浮かべてほしいんですけど、道後ってすごいんです。596年だから、今から1400年前ぐらいに聖徳太子（しょうとくたいし）さんという方が道後にお越しになったっていう歴史がある。663年に女性の帝（みかど）、女性の天皇が道後に来たっていう歴史があるんです。実はあの松山市のおとなりの東温市っていうところのお寺の住職（じゅうしょく）さんでもあって奈良の大学の先生で前園（まえぞの）先生って方がいらっしゃるって、親しくさせていただいてるんですけど、道後に天皇がお越しになったとき、どっか泊まらないといけないよね。その泊まる場所は久米官衙遺跡辺りだったんじゃないかって前園先生おっしゃるんですよ。当時の距離からすると、そんなに離れていない。やっぱり何かそのゆかりのある建物のあるところに泊まれたんだろうと。今と違って、船であそこまで上がってこれたんじゃないかなとおっしゃっていま

す。ですので、飛鳥（あすか）時代のことだけど、そういうときの天皇が来たくなるような場所が松山の道後であったり、お泊（と）まりになったところが久米辺りではないかなっておっしゃってるんです。なんかすごい歴史ロマンがあるでしょう。久米官衙遺跡でそういうようなまち作りができるようになるのは君たちの時代かもしれないね。もちろん大切にしていけますが、みんなの時代で花開くようになるかもしれないね。まだずっと関心を持ち続けていただけたらと思います。すごく可能性のある場所だと思います。

【堀江小】 私達が住んでいる堀江も高齢化が進み、僕たちが下校したり遊びに行ったりしているとお年寄りが散歩をしているのをよく見かけます。また、小さい子どもを連れて公園に遊びに来ていたり、スーパーで買い物をしているお母さんたちも見かけることがあります。

【市長】 絵を描いてきてくれて、ありがとう。

【堀江小】 そこで、ボランティアマークなどを設置して、そのマークのある施設や店などは、ボランティアを積極的（せっきょくてき）に取り入れるという意思表示を行うと安心して買い物ができたり、訪問できたりします。私達小学生もボランティアマークをつけて地域で遊んでいけば、率先（そっせん）してボランティアを行う意思があることを周りの人に伝えることになり、自分たちの意識が高まると思います。このマークについての取り組みのご意見をお願いします。

【市民部長（しみんぶちょう）】 とてもよく調べられて、よくよく活動されたご質問ありがとうございます。ボランティア、いろんなボランティアがありますけれども松山市では一つ例をあげますと、認知症（にんちしょう）になったお年寄りをサポートする勉強会をしています。昨日のできごとを忘れてしまったり、おうちに帰る道を忘れてしまったりしたお年寄りを助けるボランティアですね。画面の左側に認知症サポーターステッカーというのをのせていますけれども、この勉強会に参加した人にこのステッカーを配っています。例えば参加した方がお店をやっている方であれば、このステッカーをお店に貼ってもらって、お年寄りへの声かけとか、見守りのお手伝いをお願いしています。この勉強会には小学生も参加できますので、一緒に勉強したいと思ったら、市役所の長寿福祉課（ちょうじゅふくしか）というところに申し込みをしてもらったら参加できます。もう一つ右側、画面の右側にあるマークですね。これステッカー以外に知っていただきたいマークなんですけれども、この車いすのマークは皆さん一度はどこかで見たことがあるのではないかと思います。これは世界共通で使われている障がい者のための国際シンボルマークというものです。このマークをはっている建物は、車いすの方だけではなく、全ての障がい者の方にやさしい建物を表しているんですね。他にも障がい者の方のためのマークというのがありますので、また調べてみて、その内容をよく理解して、ご自分のできる範囲（はんい）でボランティアをしていただきたいと思います。



【市長】 はい。困っている人とかそういう方に手を差し伸べるって、できたらいいけどちょっと勇気いりますよね。でも、そこがんばってやってみよう、喜んでもらえたら相当うれしいよ。さっき私、手話しましたよね。手話して伝わったら、ものすごくうれしいよ。それと共通したところがあります。あの、困ってる人に手を差し伸べる、ちょっと勇気があることだけど、勇気を振りしぼってやってみると、喜んでもらったらすごくうれしいので、また一歩ふみ出してみてください。お願いします。

【荏原小】 私達はもっと便利で楽しいまちにしたいと考えています。荏原地区には、九谷大橋（くたにおおはし）という大きくて立派な橋があります。私達の生活には欠かせない大切なものです。ただ、時間によってとても車で混（こ）むことがあります。もっと便利なまちにするために、もう1本橋をかけたり、橋の下に交差点を立体にできたらいいなと思っています。また、修学旅行でレオマワールドに行ったときに、周りの風景が荏原に似ているなと思いました。荏原なら土地も広くて、松山の中心地からの距離もほどよいので、レジャー施設を作るのにむいています。荏原がもっと便利で楽しいまちになれば、たくさんのお客さんが市外から松山に来ると思いますが、どう思いますか。

【市長】 久谷大橋のことですが、今までのタウンミーティングでも出たことがあって、実はあれ、県の道なんです。松山市が作ってる道、愛媛県が作ってる道、国が作ってる道ってあるんですけども、愛媛県が作ってる道なんで、ちゃんと荏原地区でのタウンミーティングで出た話を愛媛県に言って、右折レーンを作ってくれました。なので、ちゃんと大人のこれまでのタウンミーティングで出た言葉を反映（はんえい）してるっていうことになります。これからは渋滞（じゅうたい）の状況を見ながら、できることをやっていきます。橋についてはそんなお答えになります。

【都市・交通計画課長（とし・こうつうけいかくかちょう）】 レジャー施設は、民間の会社がたくさんの方が来てくれる場所はどこなのか、また作った後もずっと人が来てくれるのかといったことを何年もかけて調査をして、たくさんのお金をかけて作られる施設です。荏原地区は自然豊かで広い土地もありますが、国や県・松山市ではですね、そういった民間の方が作られ、完成するためのサポートをしたいと思っています。松山市でも民間の会社が松山でぜひ作りたいという話があれば、しっかりと応援をしていきたいと思っています。

【市長】 今ちょっと申し上げましたけれども、国が作っている道路は国道って言います。県が作ってる道路は県道って言います。松山市が作ってる道路は市道って言います。一般の人が作ってる道路で、私の道って書いて私道（しどう）もあります。もうわかんないよね。なので、道路のことで困ったことがあったら、遠慮なく松山市役所に言ってください。国の方に言ったりとか、愛媛県の方に言ったりとか、ときには警察の方に言ったりとか、ちゃんとつながりますから、遠慮なく言っていただいたらと思います。

【市長】 はい、何とか先ほど冒頭（ぼうとう）申し上げたように、今日小学生のタウンミーティング初めてだったので、一番いけないのは18校来てもらっていて、例えば17校までは意見聞けたけど、ある1校だけは聞けなかったっていうのは絶対に避（さ）けないといけないなと思って、ちょっと矢継ぎ早（やつぎばや）だったんですけども、こういう形でやらせてもらいました。一応、全校発言してもらってよかったなと思います。私から、今日、保護者の皆さんも来ていただいてありがとうございます。先生方もありがとうございます。ちょっと時間のこともあって、皆さんもうちょっと話があったんじゃないかなと思いますけども。はい、また小学校のタウンミーティング第2弾、第3弾がありますので、それにまた今日の反省点を生かしていけたらなと思います。最後に私の方から。みんなこれから中学校になるよね。高校に進む人、また就職（しゅうしょく）する人、大学に行く人いると思うんだけど、よく言うのがみんなは可能性の塊（かたまり）なの。僕は小学校のときは、なりたいたいものって卒業文集に父親が県職員だったものだから、地方公務員（ちほうこうむいん）って書いているの、なりたいたい夢。でもね、その後、野球に関わる仕事がしたいなと思って、アナウンサーになりたいなと思ったのが高校ぐらいで、大学のあるときに落語研究会（らくごけんきゅうかい）で話術（わじゅつ）をみがいて、南海放送のアナウンサーになることができました。不思議なことに元から政治の道に入ろうと思ってなかったんだけど、市長の仕事は今14年してます。みんな人生はね、どんなふうに進むかわからないの。「どうせ」って言わないで、みんな可能性の塊（かたまり）やから、どうせって言っちゃうと、みんなの持つてる可能性を小さくするだけの言葉なんよね。「どうせやってもムダじゃわい」「どうせ何とかやけん」とかって言うでしょ、人間しんどくなったら。どうせって言わない人生を歩んでほしいんよ。いろんなことにチャレンジして行ってください。すると道は開けます。でもね、ときには立ち止まってもいいんだよ。しんどいときもある、辛いときもある。そういうときは立ち止まってもいいんだよ。でもね、ずっとうつむいているよりか、ぱっと顔を上げたらきれいな青空も見えるし、さえずってる小鳥にも気づくかもしれないし、周りで支えてくれる友達や、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃん、先生の顔にも気づくかもしれない。うつむくことがあってもいいんだよ、いいんだけど、ふっと顔を上げたらいろんなことに気づく。どんどんいろんなことにチャレンジして行ってください。本当、おじさん、うそは言わない。みんな可能性の塊（かたまり）よ。これからいろんなことにチャレンジして行ってください。ほんなら、いい人生が開けると思います。今日、みんなに会えてよかったと思います。これから、またどこかで会ったら、遠慮なく小学生のタウンミーティングで会いましたって言ってください、この風景を思い出しますから。今日みんなといろんなお話ができて良かったです。本当にありがとうございました。

了